macOS

UFRII LT/CARPS2 LBP プリンタードライバー

ユーザーズガイド

USRM2-5836-10 2023-09 ja

Copyright CANON INC. 2023

もくじ

はじめに 2

マニュアルの使いかた 3

マニュアルの表記 4

免責事項 5

著作権 6

商標 7

必要なシステム環境 9

ご使用の前に 11

インストールとプリンタの追加 13

印刷するときに必要な作業 14

プリンタドライバをインストールする 15

プリンタの追加 19

TCP/IP 接続の場合 20

USB 接続の場合 24

Bonjour 接続の場合 28

プリンタドライバをアンインストールする 32

印刷の基本操作 35

印刷前に必要な設定 36

オプションを自動設定する 37

オプションを手動設定する 38

アプリケーションソフトウェアから印刷する 39

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する 42

両面に印刷する 43

給紙方法を指定する 44

お気に入りを追加する 45

便利な印刷機能 47

ユーザ設定用紙を設定する 48

印刷品質を設定する 49

カラーモードを設定する 51

カラー/白黒の詳細な設定をする 52

設定項目一覧 54

[カラーマッチング] パネル 55

[給紙] パネル 56

[基本機能] パネル 57

［拡張機能］パネル 58

ステータスモニタについて 61

ステータスモニタを起動する 62

印刷設定一覧 63

［ファイル］メニュー 64

［ジョブ］メニュー 65

［プリンタ］メニュー 66

［オプション］メニュー 67

プリンタのメンテナンス 72

定着ローラのクリーニング 73

転写ベルトのクリーニング 74

プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う 75

プリンタステータスプリント/ユーザーデータリストを印刷する 76

PCL フォントリストを印刷する 77

用紙サイズの登録 78

消耗品情報の表示 79

カウンタ情報の表示 80

消耗品購入 81

付録 83

困ったときは 84

Canon MF/LBP Network Setup Tool について 85

IP アドレスの確認方法 88

はじめに

はじめに 2
マニュアルの使いかた 3
マニュアルの表記 4
免責事項 5
著作権 6
商標 7

はじめに

- マニュアルの使いかた(P. 3)
- 免責事項(P. 5)
- 著作権(P. 6)
- 商標(P. 7)

マニュアルの使いかた

このマニュアルを使用するにあたり、知っておく必要のある内容を説明します。

マニュアルの表記(P. 4)

マニュアルの表記

このマニュアルで使用しているマークや、設定項目について説明します。

マークについて

このマニュアルでは、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、次に示すマークを付けて説明しています。

重要

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

設定項目について

このマニュアルでは、コンピューター画面に表示される設定項目名称を、次の例のように表記しています。

例：

［プリント］

［設定］

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

著作権

Copyright CANON INC. 2023

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式／手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピューター言語への変換などをすることはできません。

商標

Apple、macOS、Safari は、Apple Inc.の商標です。

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

All other trademarks are the property of their respective owners.

必要なシステム環境

必要なシステム環境 9

必要なシステム環境

本プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

OS ソフトウェア環境

- macOS 10.13.6 以降

ハードウェア

- 上記 OS で動作保証されているコンピュータ

> **メモ**
>
> 最新のプリンタドライバは、キヤノンホームページより入手することができます。

インタフェース環境

- USB 接続時（コンピュータに標準で搭載されている USB ポート）
  - Hi-Speed USB/USB
- ネットワーク接続時
  - コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
  - プロトコル：TCP/IP（AppleTalk は使用できません）

> **メモ**
>
> 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信の USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

ハードディスク／メモリ

- 上記 OS が十分に動作する容量

ご使用の前に

ご使用の前に 11

ご使用の前に

- 最新版のドライバーは、キヤノンホームページに掲載されます。動作環境などをご確認の上、必要に応じてダウンロードしてください。

  キヤノンホームページ：https://canon.jp/
- 以下の条件によって、使用できる機能が異なる場合があります。
  - ご使用のデバイスとその設定状況
  - デバイスのファームウェアのバージョン
  - デバイスのオプション構成
  - ドライバーのバージョン
  - ご使用のコンピューターの環境
  - ご使用のアプリケーション
- マニュアル内の画面表示、手順など記載内容が実際の表示と異なる場合があります。

インストールとプリンタの追加

インストールとプリンタの追加 13
印刷するときに必要な作業 14
プリンタドライバをインストールする 15
プリンタの追加 19
TCP/IP 接続の場合 20
USB 接続の場合 24
Bonjour 接続の場合 28
プリンタドライバをアンインストールする 32

インストールとプリンタの追加

ドライバをインストールする手順について説明しています。
プリンタを使用するには、ドライバをインストールしたあとに、［システム設定］でお使いのプリンタを追加する必要があります。

メモ

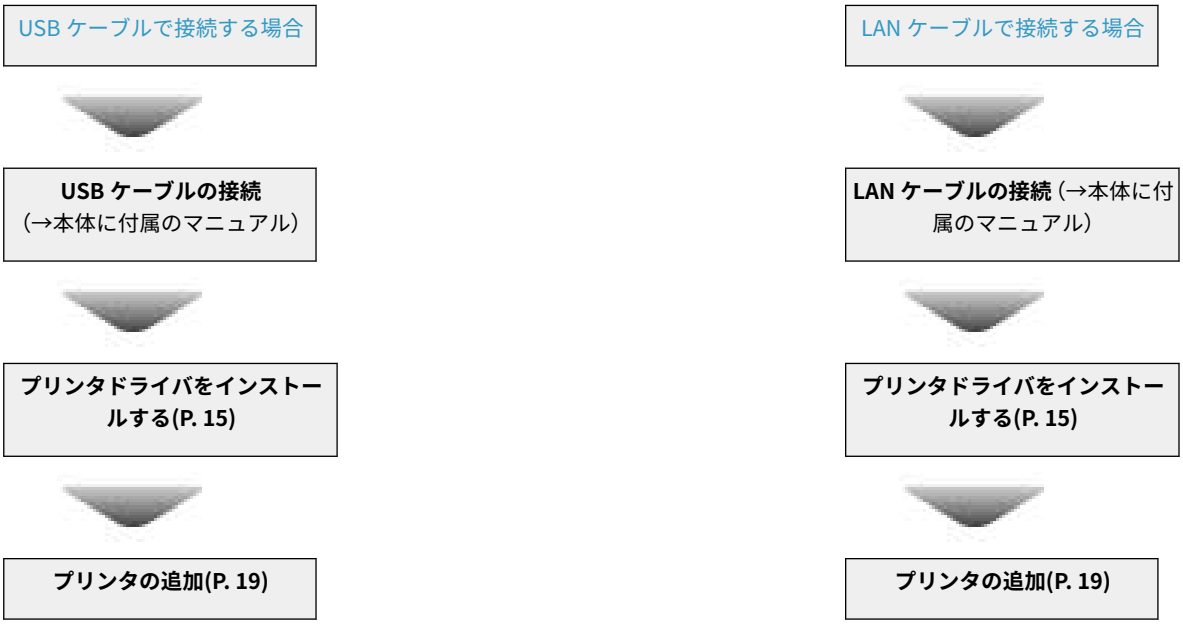
お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。
また、お使いの機種によっては、本ガイドに記載されている機能に対応していない場合や使用できる機能が異なる場合があります。

- **印刷するときに必要な作業(P. 14)**
- **プリンタドライバをインストールする(P. 15)**
- **プリンタの追加(P. 19)**
  - **TCP/IP 接続の場合(P. 20)**
  - **USB 接続の場合(P. 24)**
  - **Bonjour 接続の場合(P. 28)**
- **プリンタドライバをアンインストールする(P. 32)**

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置した後に行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。



プリンタドライバをインストールする

本プリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

重要

- インストール前に、ほかのアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- ドライバを更新するときは、上書きして更新できます。古いドライバをアンインストールする必要はありません。
- プリンタを使用するにはドライバをインストールしたあと、プリンタの追加が必要です。(→「**プリンタの追加(P. 19)**」)

メモ

プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属の CD-ROM の以下のフォルダに収録されている README ファイルを参照してください。(プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合も、同様のフォルダに収録されています。)

- [SFP] → [Documents] → [japanese] → [README-JP.html]

1 コンピュータの電源を入れます。

2 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

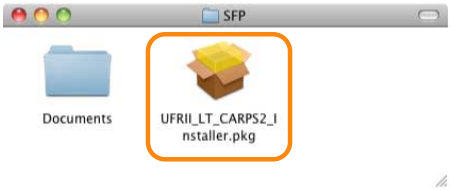
3 付属の CD-ROM「User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

※ プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを展開します。

4 [SFP] フォルダを開きます。

※ プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合は、次の手順に進みます。

5 [UFRII_LT_CARPS2_Installer.pkg] アイコンをダブルクリックします。



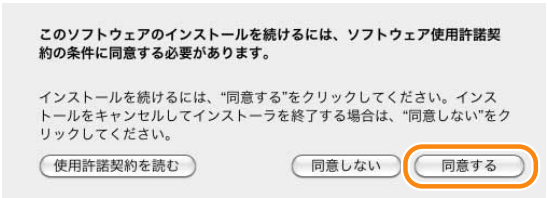
6 ［続ける］をクリックします。

7 使用許諾契約をよく読み、［続ける］をクリックします。

メモ

- ［プリント］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- ［保存］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を PDF 形式で保存します。

8 使用許諾契約に同意する場合は、［同意する］をクリックします。



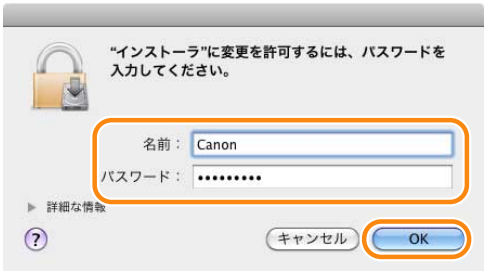
9 次の画面が表示されたときは、［続ける］をクリックします。

※ インストール先を変更することはできません。そのまま［続ける］をクリックしてください。

10 ［インストール］をクリックします。

※［インストール先を変更］ボタンが表示される場合がありますが、インストール先を変更することはできません。

11 次の画面が表示されたときは、管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



インストールが開始されます。

> **メモ**
>
> ここで入力する［名前］と［パスワード］は macOS で設定したものです。

12 ［閉じる］をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。

続いて、［システム設定］でお使いのプリンタを追加してください。

USB 接続の場合

「**プリンタの追加(P. 19)**」でプリンタを追加します。

ネットワーク接続の場合

IP アドレスやプロトコルの設定を行います。ただし、IP アドレスやプロトコルが既に設定されている場合は、「**プリンタの追加(P. 19)**」でプリンタを追加します。

プリンタの追加

プリンタを使用するには、ドライバをインストールしたあとに、お使いのプリンタを追加する必要があります。

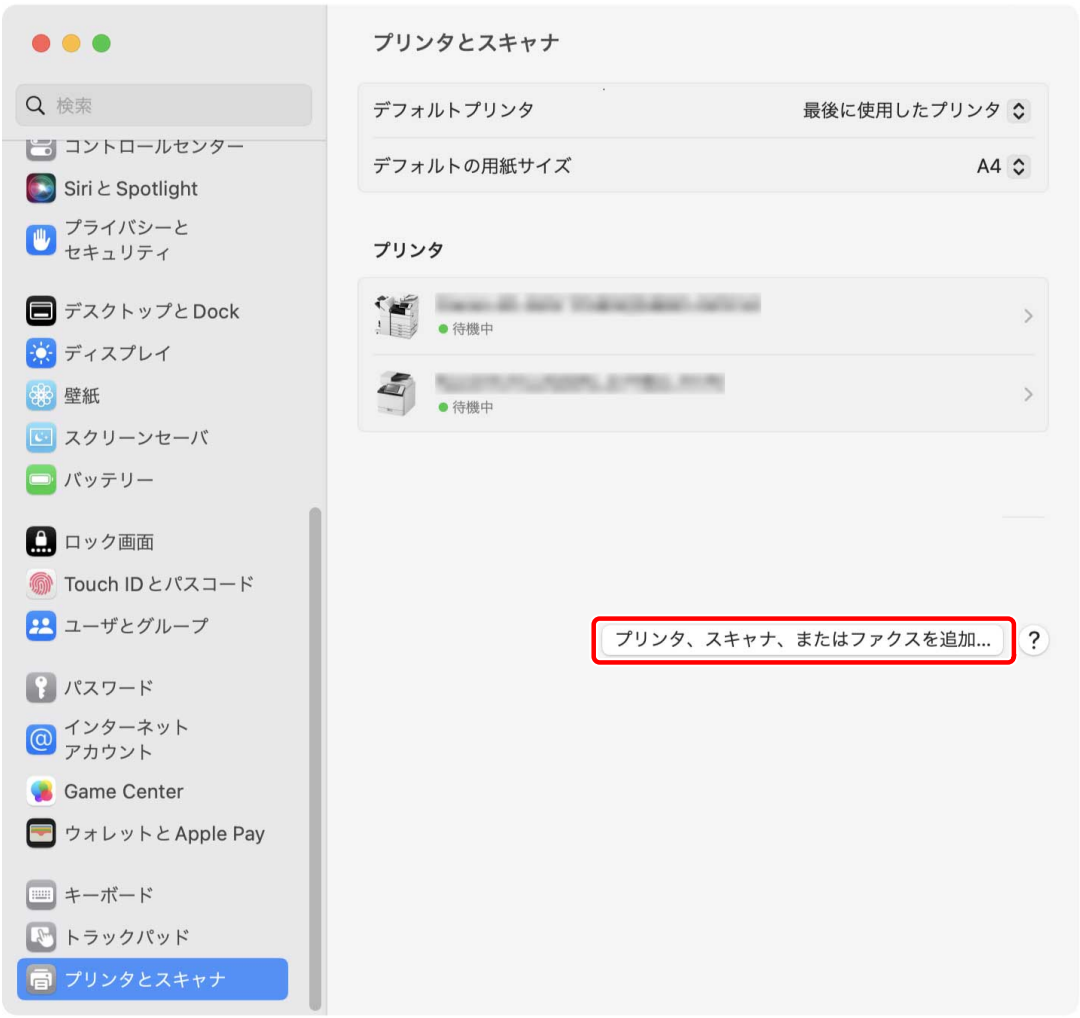
プリンタを追加するには、プリンタとコンピュータが接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

TCP/IP 接続の場合(P. 20)
USB 接続の場合(P. 24)
Bonjour 接続の場合(P. 28)

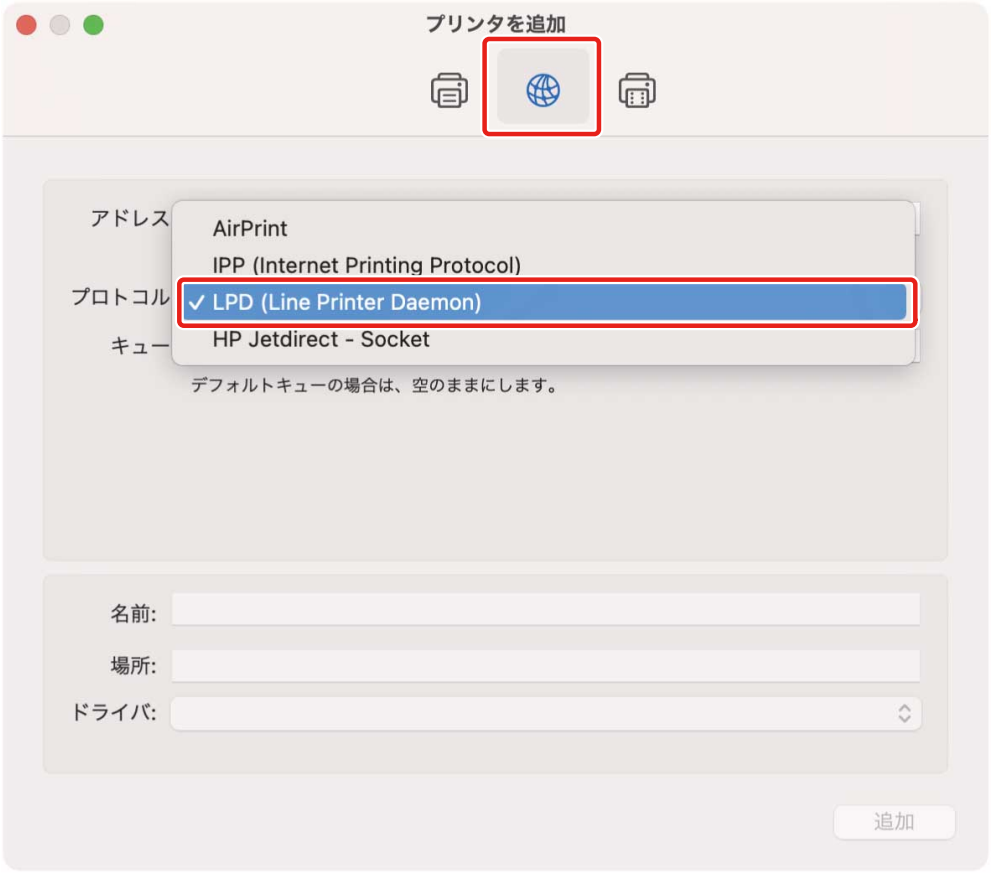
TCP/IP 接続の場合

1 **macOS の［システム設定］を開き、サイドバーで［プリンタとスキャナ］をクリックします。**

2 **［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］をクリックします。**



3 **［ IP］をクリックして、［プロトコル］から［LPD (Line Printer Daemon)］を選択します。**



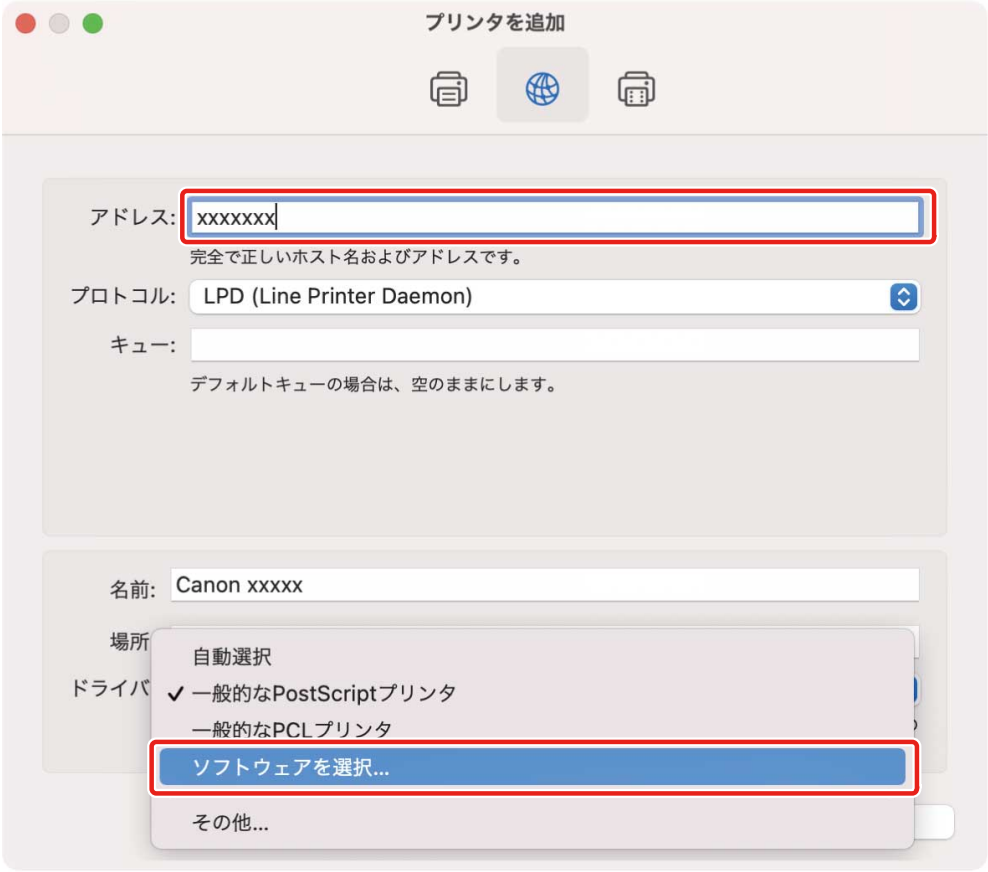
メモ

IPP (Internet Printing Protocol)は、対応していません。

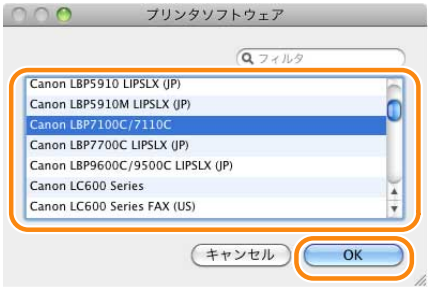
4 ［アドレス］にお使いのプリンタの IP アドレスを入力します。

5 ドライバが自動選択されない場合は、お使いのプリンタに対応したドライバを選択します。

(1)［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］を選択します。



(2) 検索フィールドにプリンタの機種名に含まれる数字を入力して、検索結果から該当するドライバを選択したあと、［OK］をクリックします。
例えば、機種名が「LBP7110C」の場合は「7110」と入力し、検索結果から機種名と一致する「Canon LBP7100C/7110C」を選択します。

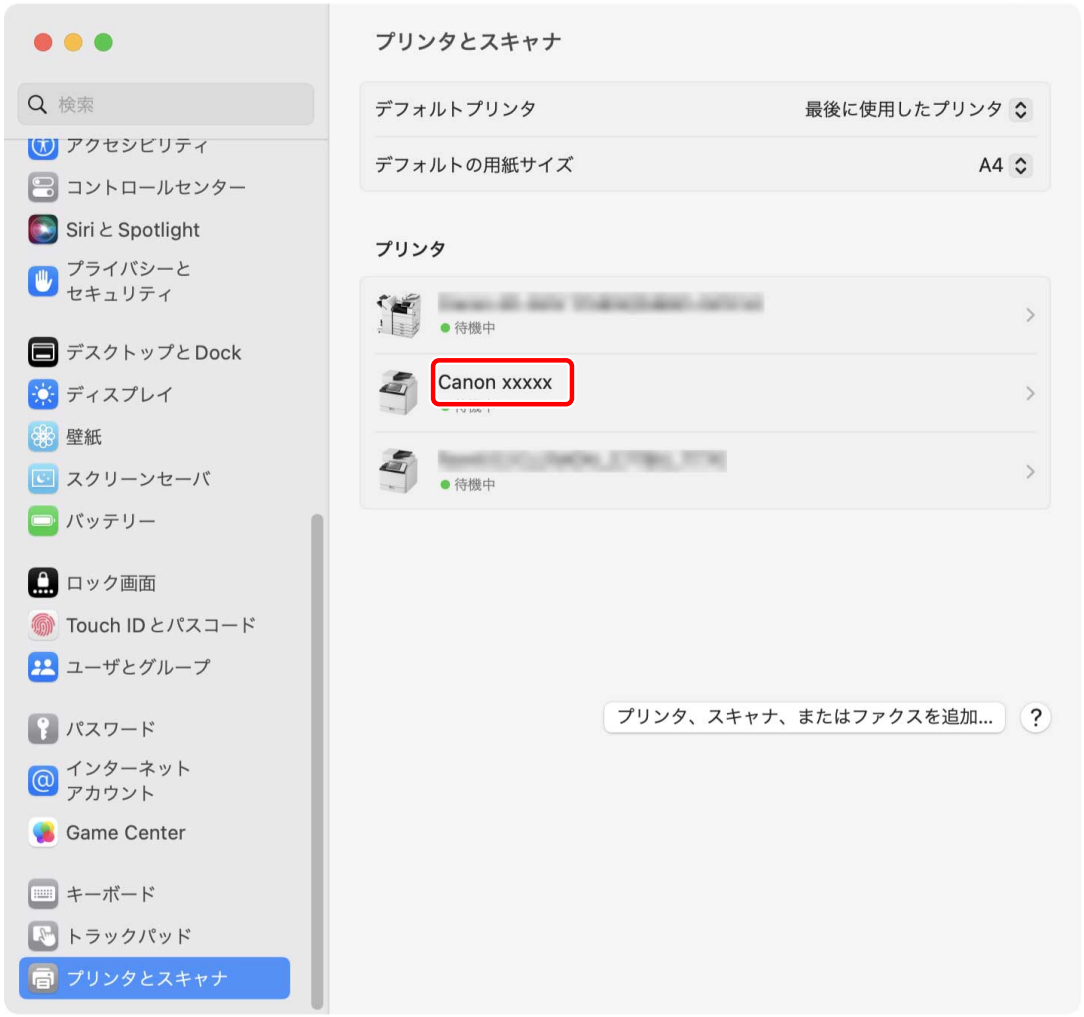


メモ

「Canon」で始まる名称のドライバを選択してください。

6 ［追加］をクリックします。

7 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタとスキャナ］ダイアログを閉じます。



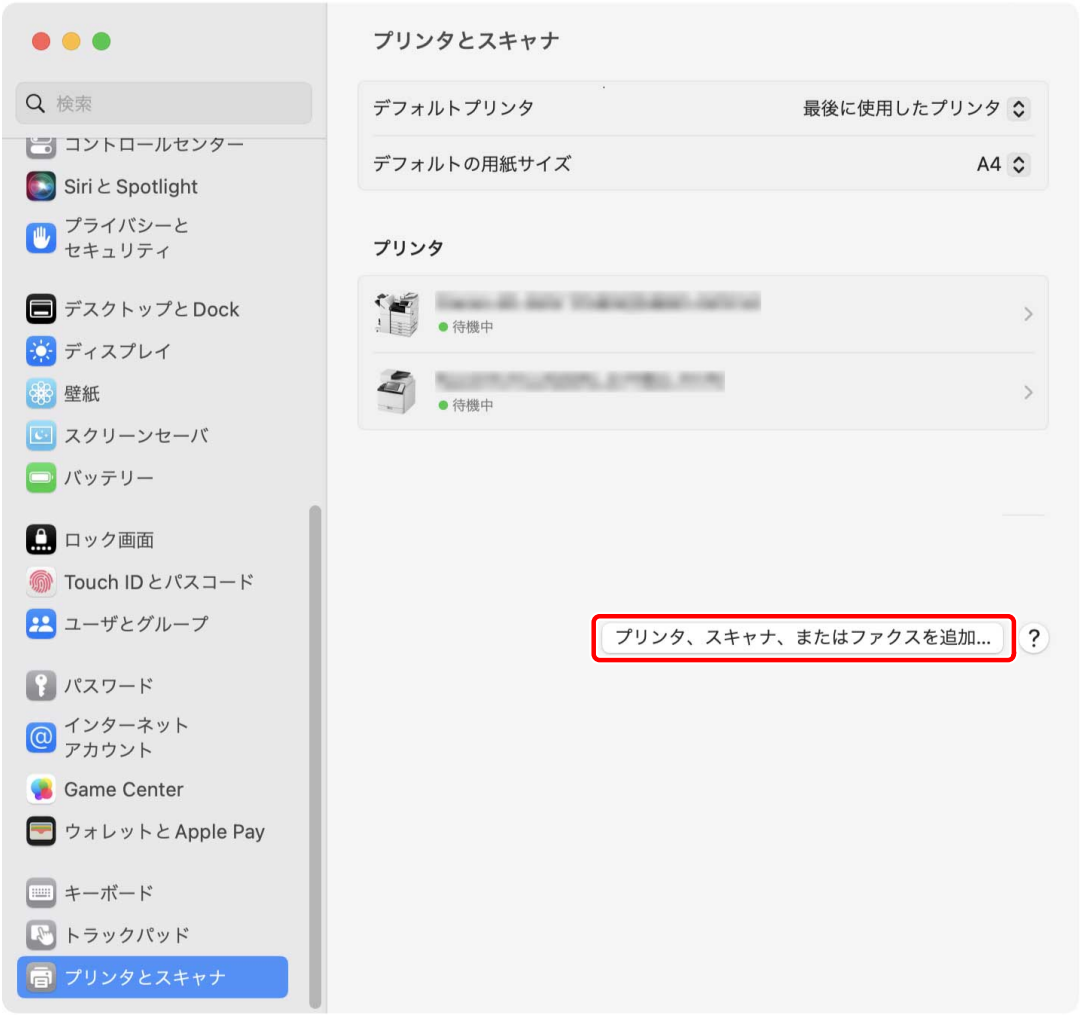
以上でコンピュータから印刷する準備が終了しました。

USB 接続の場合

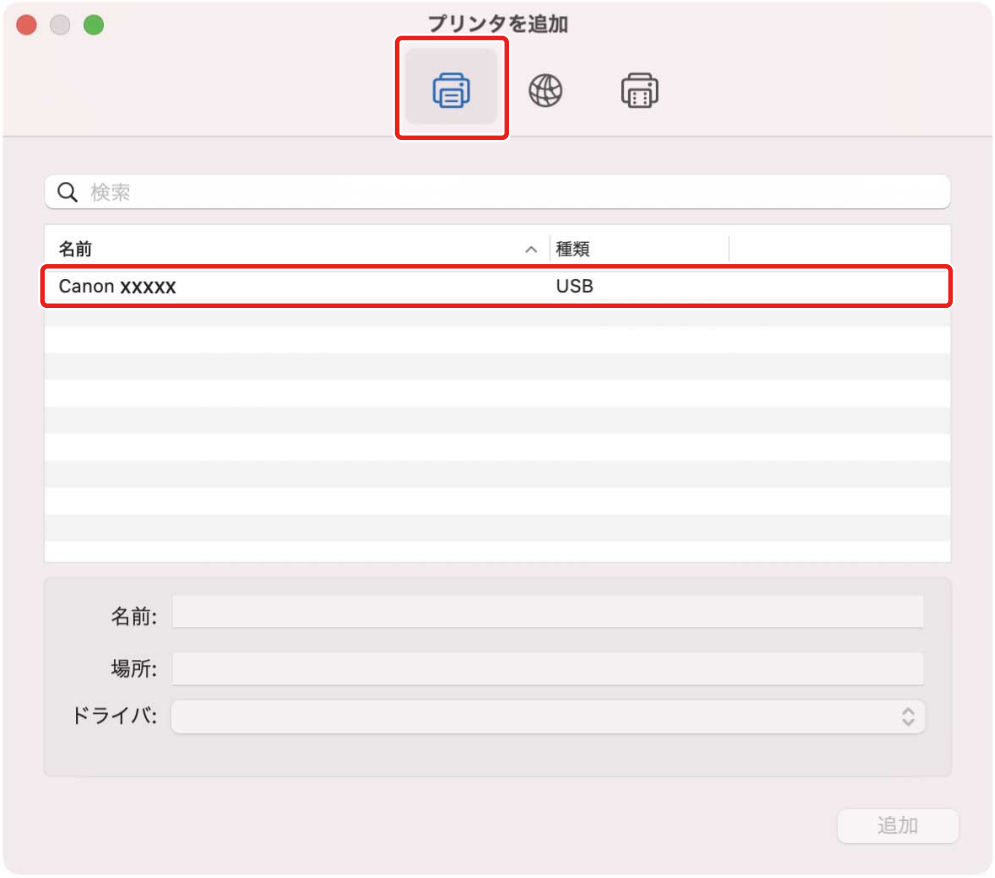
1 **macOS の［システム設定］を開き、サイドバーで［プリンタとスキャナ］をクリックします。**

2 **プリンタの電源を入れたあと、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。**

3 **［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］をクリックします。**



4 **［ デフォルト］をクリックして、リストからお使いのプリンタを選択します。**

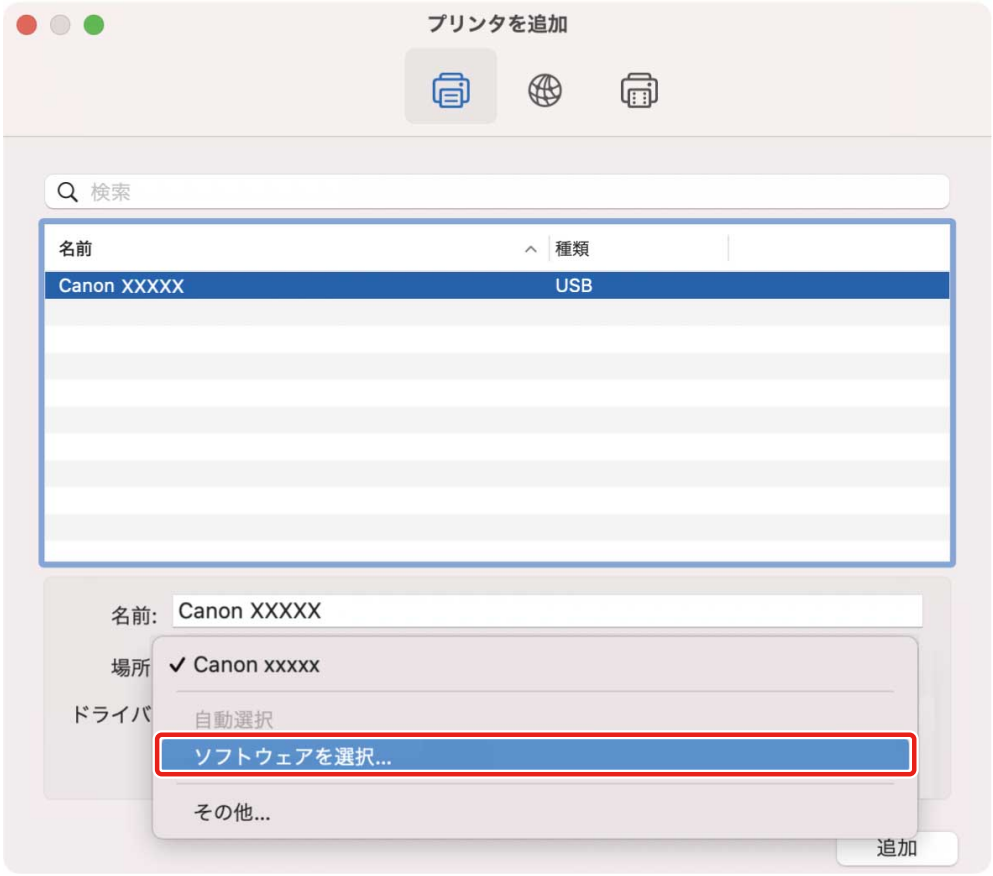


メモ

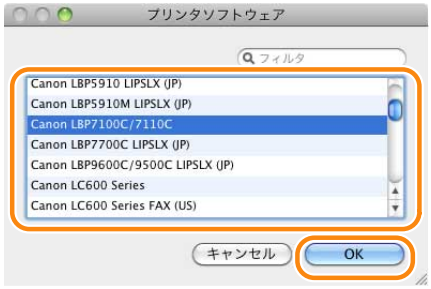
［種類］欄に「USB」と表示されているプリンタを選択してください。

5 ドライバが自動選択されない場合は、お使いのプリンタに対応したドライバを選択します。

(1)［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］を選択します。



(2) 検索フィールドにプリンタの機種名に含まれる数字を入力して、検索結果から該当するドライバを選択したあと、［OK］をクリックします。
例えば、機種名が「LBP7110C」の場合は「7110」と入力し、検索結果から機種名と一致する「Canon LBP7100C/7110C」を選択します。

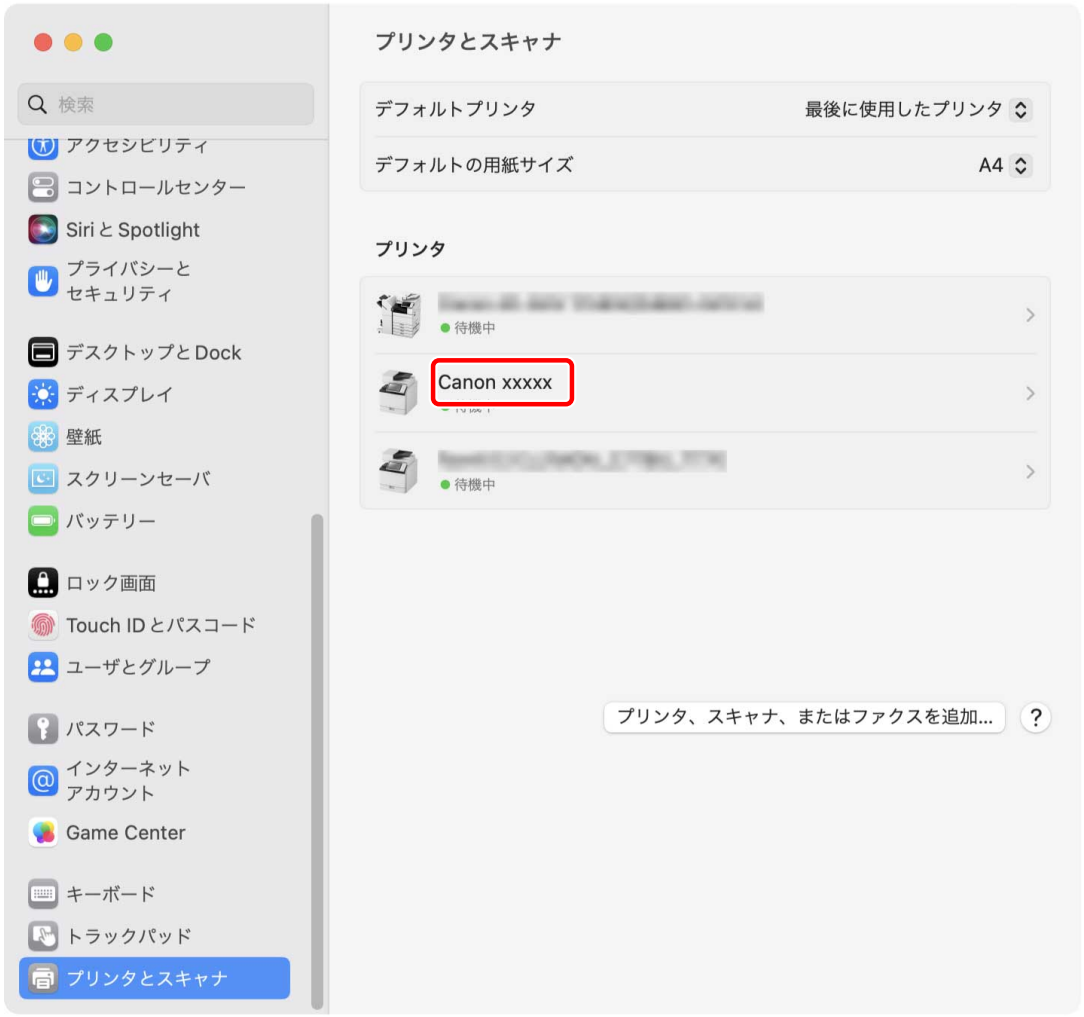


メモ

「Canon」で始まる名称のドライバを選択してください。

6 ［追加］をクリックします。

7 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタとスキャナ］ダイアログを閉じます。

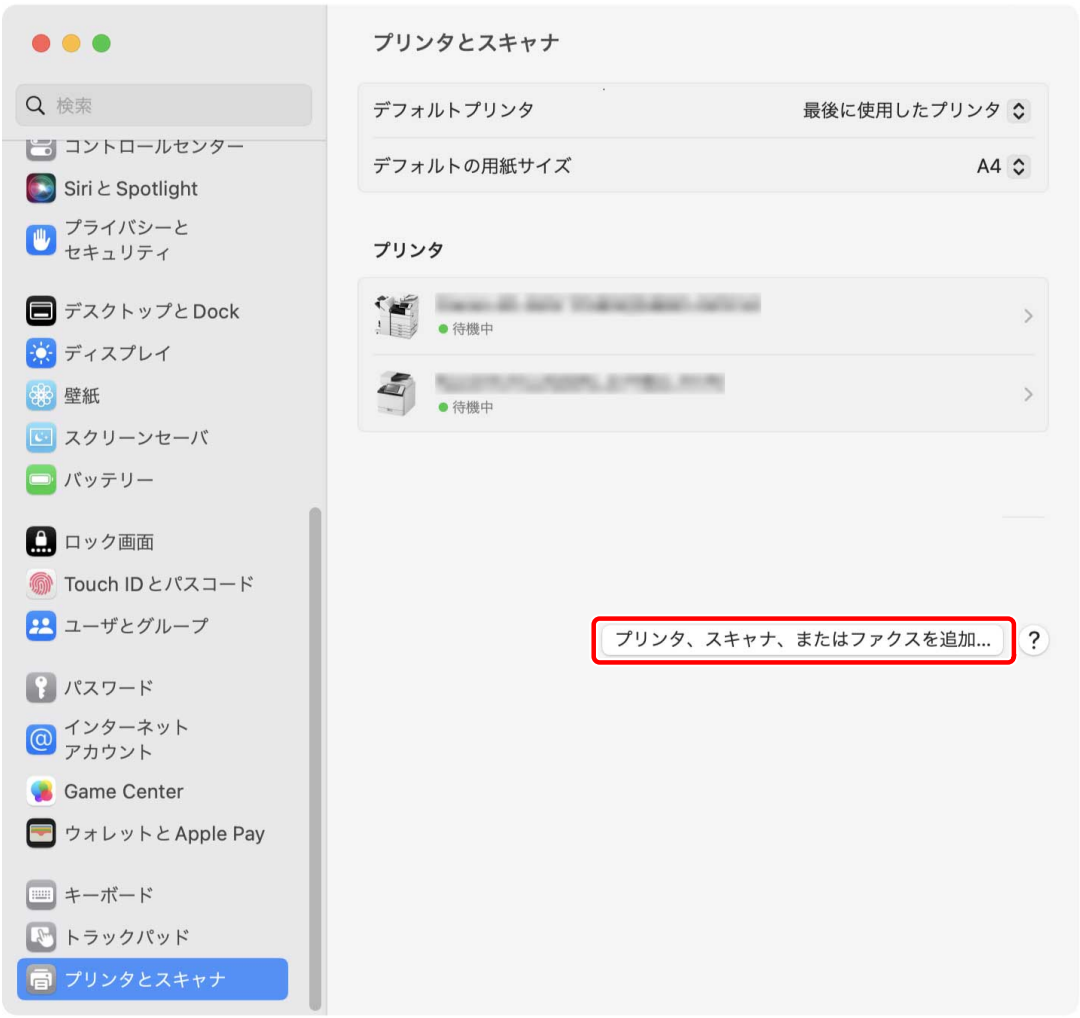


以上でコンピュータから印刷する準備が終了しました。

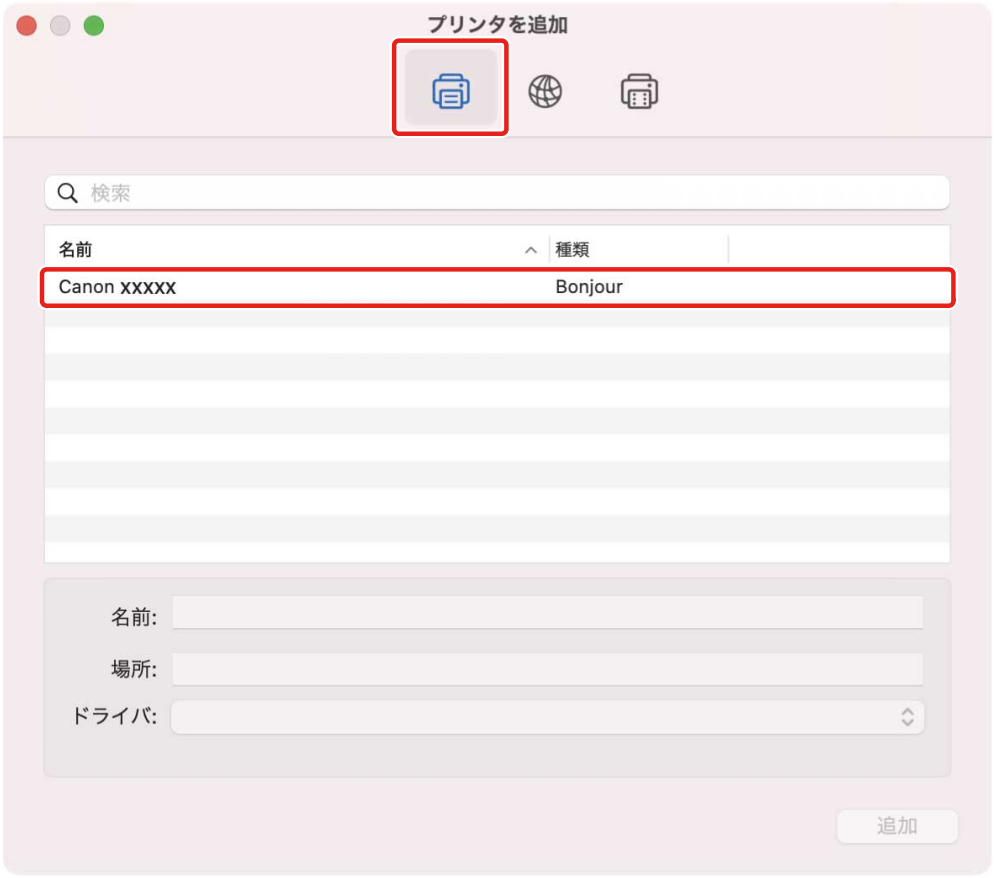
Bonjour 接続の場合

1 **macOS の［システム設定］を開き、サイドバーで［プリンタとスキャナ］をクリックします。**

2 **［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］をクリックします。**



3 **［ デフォルト］をクリックして、リストからお使いのプリンタを選択します。**

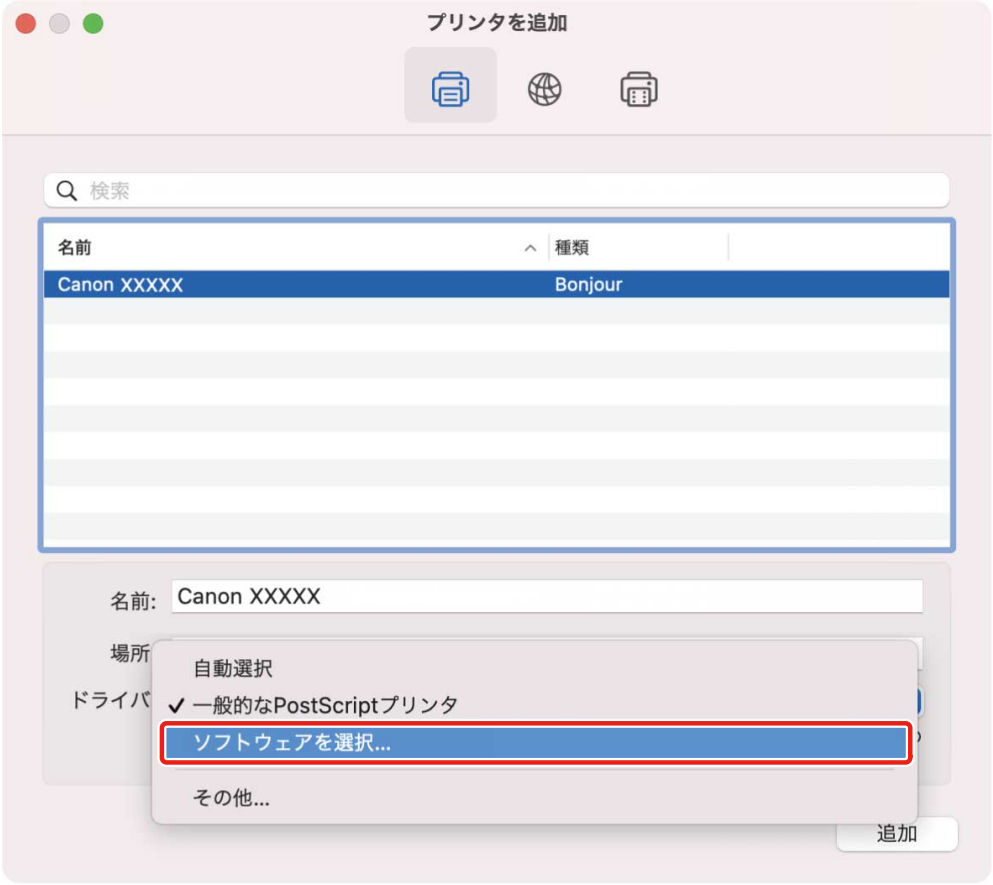


メモ

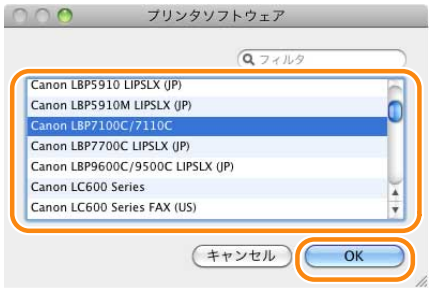
［種類］欄に「Bonjour」と表示されているプリンタを選択してください。

4 ドライバが自動選択されない場合は、お使いのプリンタに対応したドライバを選択します。

(1)［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］を選択します。



(2) 検索フィールドにプリンタの機種名に含まれる数字を入力して、検索結果から該当するドライバを選択したあと、［OK］をクリックします。
例えば、機種名が「LBP7110C」の場合は「7110」と入力し、検索結果から機種名と一致する「Canon LBP7100C/7110C」を選択します。

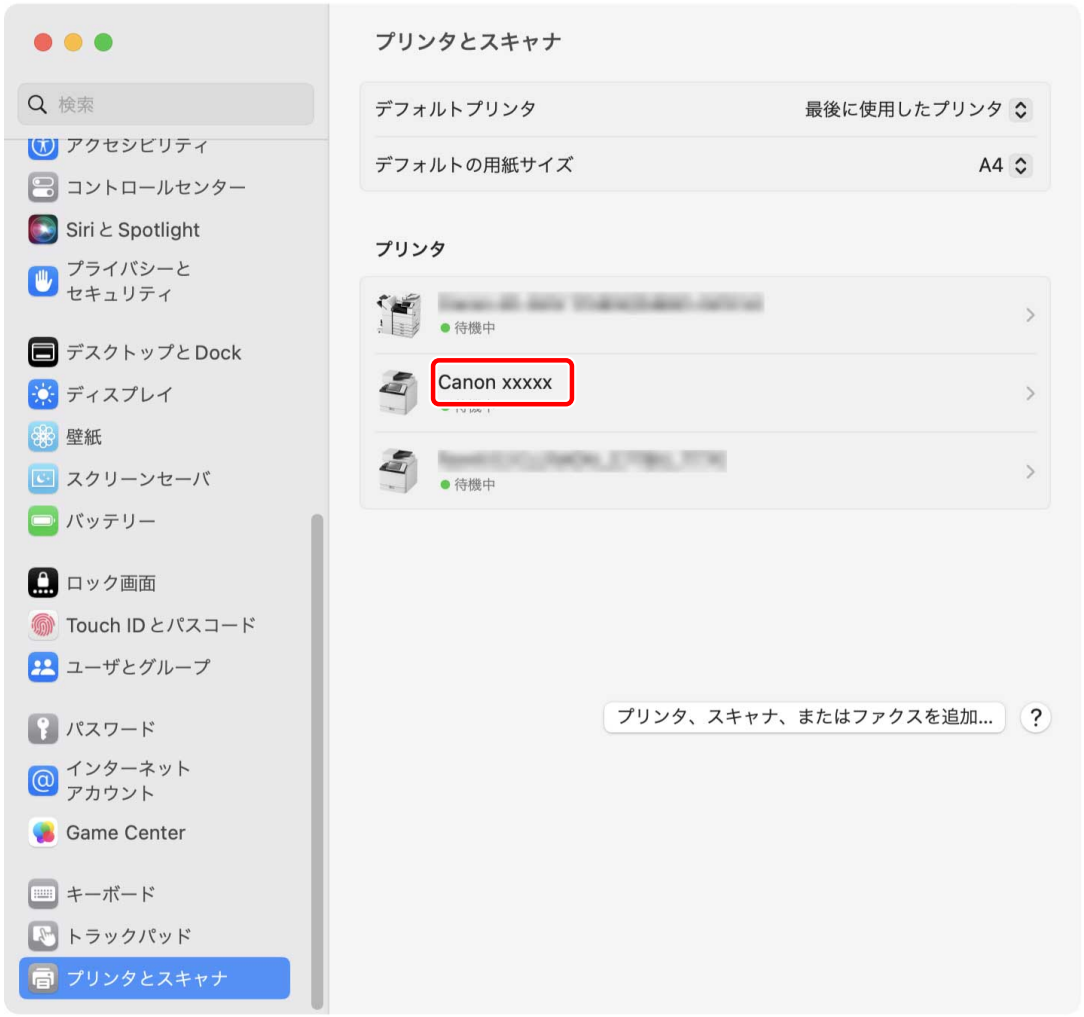


メモ

「Canon」で始まる名称のドライバを選択してください。

5 ［追加］をクリックします。

6 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタとスキャナ］ダイアログを閉じます。



以上でコンピュータから印刷する準備が終了しました。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

重要

ドライバを更新するときは、上書きして更新できます。古いドライバをアンインストールする必要はありません。

1 **macOS の［システム設定］を開き、サイドバーで［プリンタとスキャナ］をクリックします。**

2 **アンインストールするプリンタを選択します。**

3 **表示されたダイアログで、［プリンタを削除］をクリックします。**

4 **［プリンタとスキャナ］ダイアログを閉じます。**

5 「Dock」の「Finder」をクリックします。

6 メニューバーから［移動］→［フォルダへ移動］を選択します。

7 以下のフォルダの場所を入力して移動し、ファイルやフォルダを削除します。

- **削除例：**ファイルやフォルダをドラッグして、「Dock」の［ゴミ箱］に移動します。

フォルダの場所	削除するファイル名･フォルダ名
/ライブラリ/Printers/Canon/	CUPS_SFP
/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/	CNPZN***ZN.ppd.gz
/usr/libexec/cups/backend/	canonoipnetzn
/usr/libexec/cups/backend/	canonoipusbzn
/ライブラリ/LaunchAgents/	jp.co.canon.CUPSSFP.BG.plist

※ ***には機種名を表す記号が表示されます。

認証ダイアログが表示されたとき

管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

8 開いているすべてのウインドウを閉じます。

9 コンピュータを再起動します。

プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

印刷の基本操作

印刷の基本操作 35
印刷前に必要な設定 36
オプションを自動設定する 37
オプションを手動設定する 38
アプリケーションソフトウェアから印刷する 39
複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する 42
両面に印刷する 43
給紙方法を指定する 44
お気に入りを追加する 45

印刷の基本操作

印刷の基本操作について説明しています。

メモ

お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。
また、お使いの機種によっては、本ガイドに記載されている機能に対応していない場合や使用できる機能が異なる場合があります。

- **印刷前に必要な設定(P. 36)**
  - **オプションを自動設定する(P. 37)**
  - **オプションを手動設定する(P. 38)**
- **アプリケーションソフトウェアから印刷する(P. 39)**
- **複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する(P. 42)**
- **両面に印刷する(P. 43)**
- **給紙方法を指定する(P. 44)**
- **お気に入りを追加する(P. 45)**

印刷前に必要な設定

デバイスに装着されているオプションを設定します。

ドライバを初めて使用するとき、またはデバイスのオプションを変更したときは、デバイスの機能を使用できるようにするために、オプション設定を行ってください。

お使いのデバイスやデバイスの使用環境によって、設定手順は異なります。

オプションを自動設定する(P. 37)
オプションを手動設定する(P. 38)

オプションを自動設定する

お使いのデバイスによっては、ステータスモニタからプリンタ情報を取得すると、デバイスのオプション情報を自動取得して設定できます。

重要

以下の手順でプリンタ情報を取得すると、オプションを手動設定してもドライバに反映されません。手動設定したい場合は、［システム設定］でプリンタを削除して再度プリンタを追加したあと、プリンタ情報を表示せずに、オプションを手動で設定してください。

1 ステータスモニタを起動します。

メモ

ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 ステータスモニタの［プリンタ］メニューから［プリンタ情報を取得］を選択します。

デバイスのオプション情報が取得されます。

オプションを手動設定する

1. macOS の［システム設定］を開き、サイドバーで［プリンタとスキャナ］をクリックします。
2. 使用するデバイスを選択します。
3. 表示されたダイアログで、［オプションとサプライ］をクリックします。
4. ［オプション］をクリックします。
5. オプションを設定して、［OK］をクリックします。

> **重要**
>
> 実際にデバイスに装着されているオプションのみ選択してください。

> **メモ**
>
> お使いのデバイスに対応するドライバ名については、README を参照してください。

アプリケーションソフトウェアから印刷する

ここでは、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明します。

なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

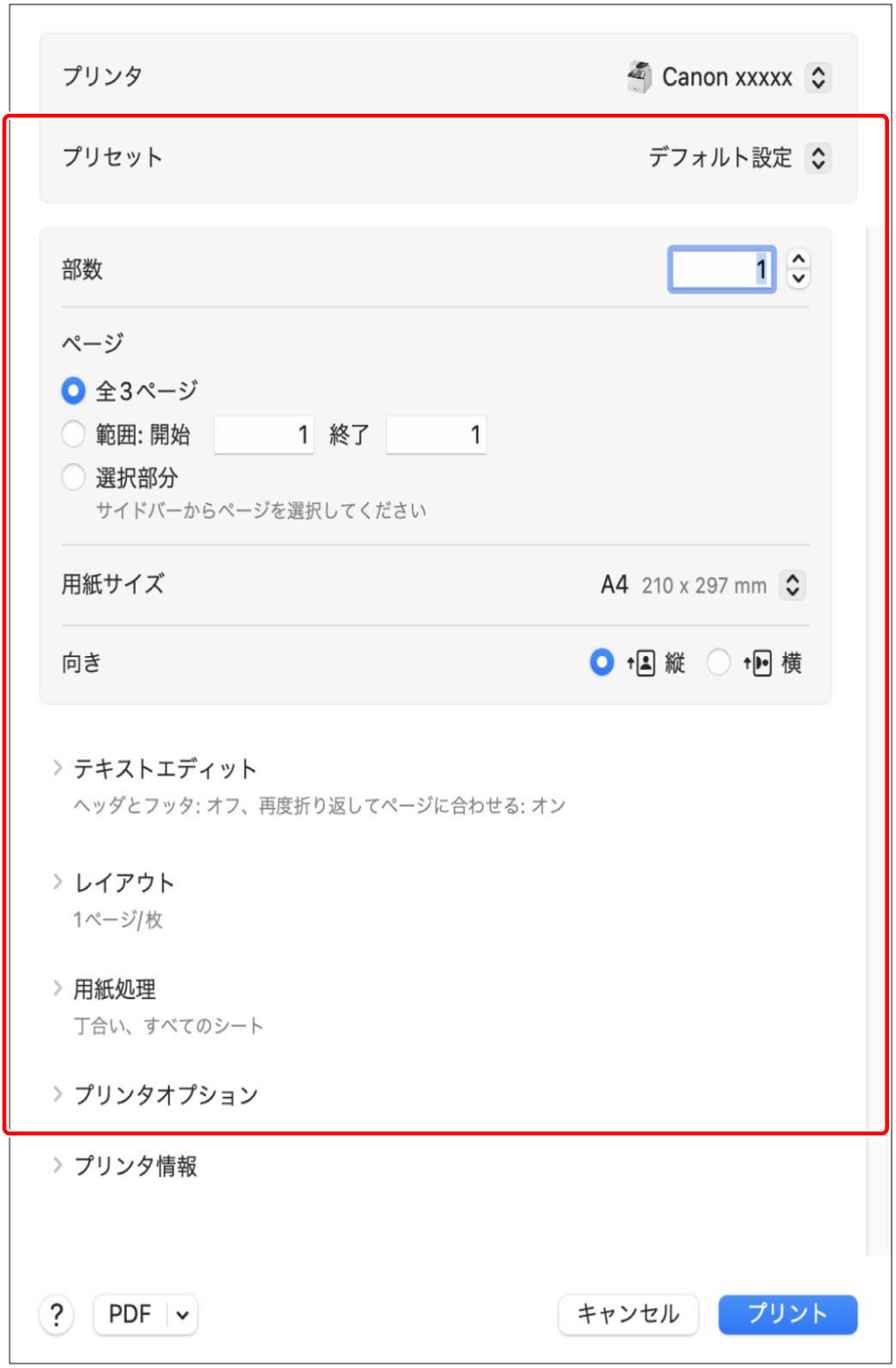
> **メモ**
>
> ［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって、表示が若干異なります。

2 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

3 ページ範囲、部数などを設定します。

プリセットを使用して印刷するときは、［プリセット］から使用したいプリセット名を選択します。

デバイスの印刷機能を設定するときは、［プリンタオプション］をクリックしたあと、必要な項目を設定します。



メモ

- お使いのプリンタが表示されない場合は、［プリンタ］から［プリンタを追加］を選択して、ご使用のプリンタを追加してください。
- 使用するアプリケーションによっては、［プリンタオプション］に［プリンタの機能］が表示されることがあります。その場合は、［プリンタの機能］をクリックし、［機能セット］ポップアップメニューから設定したい機能を選択してください。
- 設定したい機能が表示されていない場合は、デバイスのオプションなどを有効にしてから、設定を行ってください。

4 **［プリント］ダイアログで［プリント］をクリックします。**

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する

複数ページの原稿を並べて、1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［レイアウト］をクリックします。

3 ［ページ数/枚］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、6、9、16 ページ数／枚のいずれかです。

4 ［レイアウト方向］で、［ページ数/枚］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。

5 各ページに境界線（枠線）をつける場合は、［境界線］で線の種類を設定します。

6 ［プリント］をクリックします。

両面に印刷する

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで［プリンタオプション］をクリックしたあと、［基本機能］をクリックします。

［基本機能］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、［両面印刷］を選択します。

4 ［とじ方向］で、［長辺とじ］/［短辺とじ］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

関連項目

［基本機能］パネル(P. 57)

給紙方法を指定する

A5 サイズ、Statement サイズの用紙やユーザ設定用紙を横置きにセットしたときは、以下の手順で給紙方法を指定します。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで［プリンタオプション］をクリックしたあと、［給紙］をクリックします。

［給紙］パネルが表示されます。

3 セットした用紙に合わせて、チェックマークを付けます。

4 ［OK］をクリックします。

関連項目

［給紙］パネル(P. 56)

お気に入りを追加する

よく使う印刷設定を［プリセット］に登録しておくと、設定を呼び出して印刷できます。
例えば、片面印刷を使用することが多い場合は、片面印刷の設定をプリセットとして登録しておくと便利です。
また、よく使用するプリセットを、次回の印刷時に表示された状態にして、すぐ使用できるように設定することもできます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 プリントオプションを選択して、プリセットに登録したい機能を設定します。

3 ［プリセット］のポップアップメニューから［現在の設定をプリセットとして保存］を選択します。

4 表示されたダイアログで、［プリセット名］を入力したあと、［対象］を選択します。

5 ［タイプ］で［プリントジョブのプリセット］を選択したあと、［OK］をクリックします。

［プリントジョブのプリセット］は、一般的なプリントジョブに使用するプリセットです。［プリントジョブのプリセット］と組み合わせて使用するプリセットを登録する場合は、［タイプ］で［カスタムプリセット］を選択してください。

登録したプリセットをよく使用する場合は、手順 **6.(P. 45)** と **7.(P. 45)** を実行したあとで、プリセットを選択して印刷してください。次回以降の印刷時に［プリセット］に表示された状態になります。

6 ［プリセット］から［プリセットリストを編集］を選択します。

7 ［プリント後にプリセットメニューを"デフォルト設定"にリセット］を無効にしたあと、［OK］をクリックします。

便利な印刷機能

便利な印刷機能 47
ユーザ設定用紙を設定する 48
印刷品質を設定する 49
カラーモードを設定する 51
カラー/白黒の詳細な設定をする 52

便利な印刷機能

便利な印刷機能について説明しています。

メモ

お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。
また、お使いの機種によっては、本ガイドに記載されている機能に対応していない場合や使用できる機能が異なる場合があります。

ユーザ設定用紙を設定する(P. 48)
印刷品質を設定する(P. 49)
カラーモードを設定する(P. 51)
カラー/白黒の詳細な設定をする(P. 52)

ユーザ設定用紙を設定する

アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズには、用意されている定形用紙以外に、独自に用紙を設定することができます。この用紙を、ユーザ設定用紙と呼びます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理］を選択します。

3 表示されたダイアログの下にある［+］をクリックします。

4 ユーザ設定用紙の名称、用紙サイズなどの詳細を設定します。

5 さらに別の用紙設定を行う場合は、手順 3.(P. 48) ～ 4.(P. 48) を繰り返します。

6 ［OK］をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

印刷品質を設定する

写真を含む原稿などは、階調や品質を設定することによって、よりきれいに印刷できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで［プリンタオプション］をクリックしたあと、［拡張機能］をクリックします。

［拡張機能］パネルが表示されます。

3 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

［出力調整モードを使う］	解像度変換処理を行います。本項目を選択した場合、画質を優先して出力されます。
［用紙サイズのチェックを行う］	給紙カセットと印刷データの用紙のサイズを確認して、異なる場合はステータスモニタにメッセージを表示します。
［スーパースムーズを使う］	文字や図形の輪郭をなめらかに補正します。
［品質］	印刷データを処理するときの解像度を設定します。 **［ファイン(600 dpi)］：** 一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。 **［スーパーファイン(1200 dpi)］：** きめ細かい解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。 特に小さい文字が多く含まれるデータをプリントするのに適したモードです。
［精細濃度補正］	小さい文字や細い線の濃度を調整します。 ※［精細濃度補正］は［品質］で［スーパーファイン(1200 dpi)］を選択した時にのみ設定できます。
［特殊印字モード］	印刷時にすじ状の汚れが発生する場合に、印字の調整を行います。［モード 1］から順に試してください。
［特殊印字モード A］/［特殊印字モード B］	すじが入って印刷される場合に、印刷結果を改善します。
［特殊印字モード A］	ドットを間引いて印字します。［モード 1］から順に試してください。
［特殊印字モード B］	トナーの定着性を高めます。［モード 1］から順に試してください。

［用紙シワ補正］	用紙にシワがよって排紙されて紙詰まりが起こる場合に、シワを低減します。［モード 1］から試してください。
［特殊印字処理］	**［しない］：** 特殊印字処理を行わずに印刷します。 **［特殊設定 1］：** 印刷したバーコードが読み取れない場合に選択します。 **［特殊設定 2］：** 濃淡の強い文書を印刷したときに、文字や画像の輪郭が白く抜けるのを防ぐ場合に選択します。 **［特殊設定 3］：** 印刷時の稼働音を抑えたい場合に選択します。
［特殊設定 1］	細線を印刷した場合に、太くなることがあります。この場合、本項目の設定を変更してください。 線の太さの改善効果は次の順序で強くなります。 ［しない］（効果：弱） → ［モード 1］ → ［モード 2］ → ［モード 3］ → ［モード 4］ → ［モード 5］（効果：強）
［バーコード調整モード］	バーコード印刷がうまくいかない場合に、線の太さを調整します。

4 ［OK］をクリックします。

関連項目

- **［拡張機能］パネル(P. 58)**

カラーモードを設定する

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで［プリンタオプション］をクリックしたあと、［基本機能］をクリックします。

［基本機能］パネルが表示されます。

3 ［設定項目］をクリックします。

4 ［カラーモード］で印刷するカラーモードを選択します。

設定内容は、以下の通りです。

［白黒］	カラーの原稿でも黒のみで印刷します。
［カラー］	CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の 4 色で印刷します。
［自動(カラー/白黒)］	原稿の種類によって、カラー印刷と白黒印刷を自動的に切り替えます。

メモ

- ［自動(カラー/白黒)］を選択した場合、アプリケーションの出力によっては一部の白黒ページがフルカラーモードで印刷されることがあります。
- ［自動(カラー/白黒)］を選択した場合、［カラー］、［白黒］で印刷したときよりも印刷が遅くなることがあります。

5 ［OK］をクリックします。

関連項目

［基本機能］パネル(P. 57)

カラー/白黒の詳細な設定をする

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで［プリンタオプション］をクリックしたあと、［基本機能］をクリックします。

［基本機能］パネルが表示されます。

3 ［調整項目］をクリックします。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

［明るさ］	印刷するときの明るさを調整します。［明るさ］のつまみを左右にドラッグして調整します。 右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
［コントラスト］	印刷するときのコントラストを調整します。［コントラスト］のつまみを左右にドラッグして調整します。 右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

メモ

コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

5 ［OK］をクリックします。

関連項目

［基本機能］パネル(P. 57)

設定項目一覧

設定項目一覧 54
- **［カラーマッチング］パネル** 55
- **［給紙］パネル** 56
- **［基本機能］パネル** 57
- **［拡張機能］パネル** 58

設定項目一覧

- ［カラーマッチング］パネル(P. 55)
- ［給紙］パネル(P. 56)
- ［基本機能］パネル(P. 57)
- ［拡張機能］パネル(P. 58)

［カラーマッチング］パネル

カラープロファイルを設定します。

［ColorSync］

アプリケーション側で色を制御します。

［Canon カラー・マッチング］

プリンタ側で色を制御します。

［プロファイル］

お好みのカラープロファイルを指定して印刷できます。

［給紙］パネル

給紙方法の設定や、用紙の種類の設定など、給紙に関する設定を行います。

［給紙部］

給紙部を選択します。

- ［自動］：給紙部を自動で選択します。
- ［手差し］：手差しで給紙します。
- ［カセット 1］～［カセット 4］：カセットから給紙します。

［用紙種類］

給紙する用紙の種類を選択します。

［A5 を横送りにする］

A5 サイズの用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。

［Statement を横送りにする］

Statement サイズの用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。

［ユーザ設定用紙を横送りする］

次のサイズのユーザ設定用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。

- 幅：12.70 ～ 21.59 cm
- 長さ：12.70 ～ 21.59 cm

［基本機能］パネル

基本的な印刷機能の設定を行います。

［設定項目］タブをクリックした場合

［用紙種類］

印刷に使用する用紙種類を選択します。

［印刷方法］

片面/両面に印刷するか切り替えます。

［とじ方向］

とじしろの位置を選択します。

［カラーモード］

カラー印刷/白黒(モノクロ)印刷を切り替えます。［自動(カラー/白黒)］を選択すると、ページ単位でカラー/白黒を自動判別します。

［ドラフトモード］

ドラフトモードを使用すると、印刷濃度を調整して印刷が行われます。印刷濃度の調整効果は次の順序で強く(濃度が薄く)なります。

お使いの機種によっては、［使わない］/［使う］を切り替えます。

［モード 1］（効果：弱）

↓

［モード 2］

↓

［モード 3］（効果：強）

［調整項目］タブをクリックした場合

［明るさ］

明るさを調整するには、このつまみを左右にドラッグします。

［コントラスト］

コントラストを調整するには、このつまみを左右にドラッグします。

［拡張機能］パネル

詳細な印刷機能の設定を行います。

［出力調整モードを使う］

解像度変換処理を行います。本項目を選択した場合、画質を優先して出力されます。

［用紙サイズのチェックを行う］

給紙カセットと印刷データの用紙のサイズを確認して、異なる場合はステータスモニタにメッセージを表示します。

［スーパースムーズを使う］

文字や図形の輪郭をなめらかに補正します。

［品質］

解像度を選択します。

［精細濃度補正］

小さい文字や細い線の濃度を調整します。

> **メモ**
>
> ［精細濃度補正］は［品質］で［スーパーファイン(1200 dpi)］を選択した時にのみ設定できます。

［特殊印字モード］

印刷時にすじ状の汚れが発生する場合に、印字の調整を行います。［モード 1］から順に試してください。

［特殊印字モード A］/［特殊印字モード B］

すじが入って印刷される場合に、印刷結果を改善します。

- ［特殊印字モード A］：ドットを間引いて印字します。［モード 1］から順に試してください。
- ［特殊印字モード B］：トナーの定着性を高めます。［モード 1］から順に試してください。

［用紙シワ補正］

用紙にシワがよって排紙されて紙詰まりが起こる場合に、シワを低減します。［モード 1］から試してください。

［特殊印字処理］

［しない］

特殊印字処理を行わずに印刷します。

[特殊設定 1]

印刷したバーコードが読み取れない場合に選択します。

[特殊設定 2]

濃淡の強い文書を印刷したときに、文字や画像の輪郭が白く抜けるのを防ぐ場合に選択します。

[特殊設定 3]

印刷時の稼働音を抑えたい場合に選択します。

[特殊設定 1]

細線を印刷した場合に、太くなることがあります。この場合、本項目の設定を変更してください。

線の太さの改善効果は次の順序で強くなります。

[しない] （効果：弱）

↓

[モード 1]

↓

[モード 2]

↓

[モード 3]

↓

[モード 4]

↓

[モード 5] （効果：強）

[バーコード調整モード]

バーコード印刷がうまくいかない場合に、線の太さを調整します。

ステータスモニタについて

ステータスモニタについて 61
ステータスモニタを起動する 62
印刷設定一覧 63
［ファイル］メニュー 64
［ジョブ］メニュー 65
［プリンタ］メニュー 66
［オプション］メニュー 67
プリンタのメンテナンス 72
定着ローラのクリーニング 73
転写ベルトのクリーニング 74
プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う 75
プリンタステータスプリント/ユーザーデータリストを印刷する 76
PCL フォントリストを印刷する 77
用紙サイズの登録 78
消耗品情報の表示 79
カウンタ情報の表示 80
消耗品購入 81

ステータスモニタについて

ステータスモニタの機能と使いかたについて説明しています。

メモ

お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。
また、お使いの機種によっては、本ガイドに記載されている機能に対応していない場合や使用できる機能が異なる場合があります。

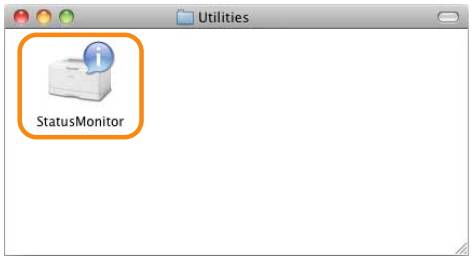
- **ステータスモニタを起動する(P. 62)**
- **印刷設定一覧(P. 63)**
  - **［ファイル］メニュー(P. 64)**
  - **［ジョブ］メニュー(P. 65)**
  - **［プリンタ］メニュー(P. 66)**
  - **［オプション］メニュー(P. 67)**
- **プリンタのメンテナンス(P. 72)**
  - **定着ローラのクリーニング(P. 73)**
  - **転写ベルトのクリーニング(P. 74)**
  - **プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う(P. 75)**
- **プリンタステータスプリント/ユーザーデータリストを印刷する(P. 76)**
- **PCL フォントリストを印刷する(P. 77)**
- **用紙サイズの登録(P. 78)**
- **消耗品情報の表示(P. 79)**
- **カウンタ情報の表示(P. 80)**
- **消耗品購入(P. 81)**

ステータスモニタを起動する

ステータスモニタは、次の手順で起動します。

1 お使いのハードディスクから［ライブラリ］→［Printers］→［Canon］→［CUPS_SFP］の順にクリックし、［Utilities］フォルダを開きます。

2 ［StatusMonitor］アイコンをダブルクリックします。



［ステータスモニタ］ウィンドウが表示されます。

メモ

- ステータスモニタは次の方法でも起動することができます。
  - ［プリンタとスキャナ］ダイアログでお使いのプリンタを選択し、［オプションとサプライ］をクリックして、［ユーティリティ］→［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。
- 「Dock」にステータスモニタを登録しておくと、「Dock」のアイコンをクリックするだけでステータスモニタを起動することができて便利です。
  また、デスクトップにエイリアスを作成しておいても、ダブルクリックで起動することができます。

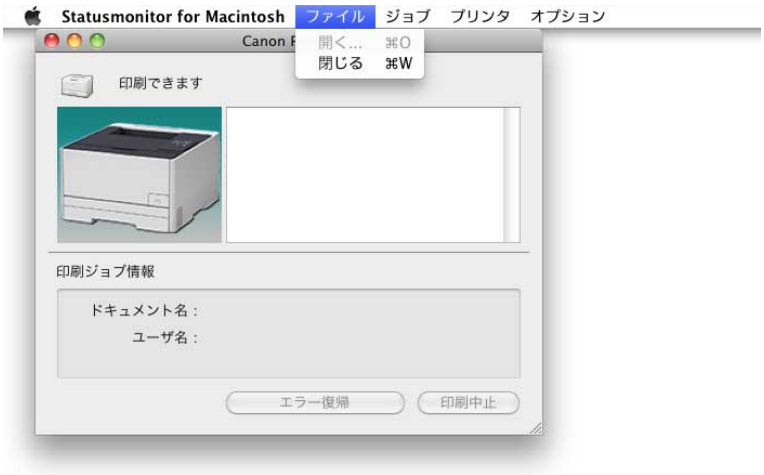
印刷設定一覧

ステータスモニタから印刷するときの各種印刷設定について説明しています。

- **［ファイル］メニュー(P. 64)**
- **［ジョブ］メニュー(P. 65)**
- **［プリンタ］メニュー(P. 66)**
- **［オプション］メニュー(P. 67)**

［ファイル］メニュー

ステータスモニタの［ファイル］メニューには、次の機能があります。



［開く］

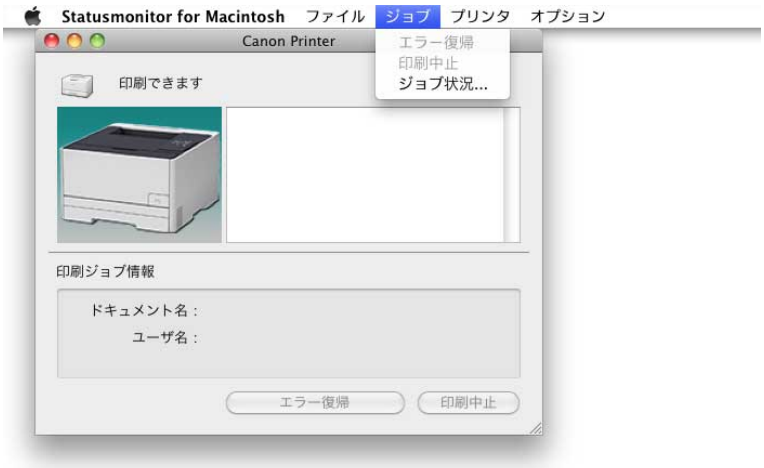
［ステータスモニタ］ウィンドウを開きます。

［閉じる］

［ステータスモニタ］ウィンドウを閉じます。

［ジョブ］メニュー

ステータスモニタの［ジョブ］メニューには、次の機能があります。



［エラー復帰］

印刷中に何らかの理由で停止したジョブを再開します。

［印刷中止］

印刷を中止します。

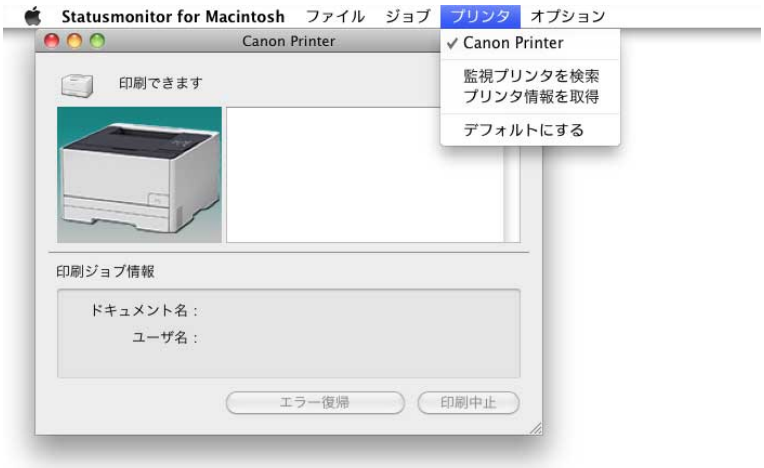
［ジョブ状況］

［ジョブ状況］ダイアログボックスを表示します。

印刷中や待機中などのジョブの確認や削除を行うことができます。

［プリンタ］メニュー

ステータスモニタの［プリンタ］メニューには、次の機能があります。



プリンタ名

印刷状況を監視できるプリンタが表示されます。複数のプリンタがある場合は、監視したいプリンタを選択します。

［監視プリンタを検索］

［プリンタ］メニューに目的のプリンタが表示されていない場合、［監視プリンタを検索］を選択することによって、目的のプリンタを検索できます。

［プリンタ情報を取得］

プリンタの現在の状態を取得します。

［デフォルトにする］

現在表示されている機種が、ステータスモニタを起動したときに表示される機種になります。

[オプション] メニュー

ステータスモニタの［オプション］メニューには、次の機能があります。

[消耗品情報]

消耗品の状態の確認を行うことができます。

[カウンタ情報]

印刷した総ページ数などの確認を行うことができます。

[無線 LAN 状態]

無線 LAN の接続状態（電波強度）を確認することができます。

[ユーティリティ]

プリンタの定着ローラのクリーニングや印字位置の調整などを行います。

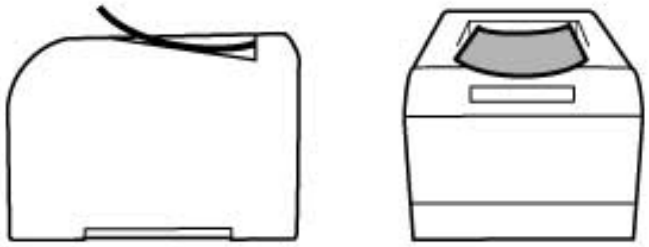
［キャリブレーション］	手動でプリンタのキャリブレーションを行います。 色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときなどに実行します。
［色ずれ補正］	色ずれが発生したときに、各色の印字開始位置を調整して色ずれを補正します。
［クリーニング］/［クリーニング 1］	印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、定着ローラをクリーニングします。
［クリーニング 2］	転写ベルトに汚れが付着すると、印刷品質が低下する場合があります。 そのような場合は、転写ベルトをクリーニングします。
［プリンタステータス プリント］	［オプション］メニューの［デバイス設定］の設定値など、現在のプリンタの情報が印刷されます。

[印字位置調整プリント]	印字位置調整プリントを印刷して、印字位置を確認することができます。
[ユーザーデータリスト]	[オプション]メニューの[デバイス設定]の設定値など、現在のプリンタの情報が印刷されます。
[PCL フォントリスト]	PCL 印刷で使用できるフォントのリストが印刷されます。
[ファームウェア更新モード移行/解除]	ファームウェア更新モードへの移行または解除を行うことができます。

[デバイス設定]

プリンタの設定やトラブル発生時の対策を行います。

[給紙方法切替]	ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、[給紙方法切替]を[プリント面優先]に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ(ロゴのある面を下向き)にすることができます。
[用紙サイズ不一致時の動作設定]	給紙部にセットされている用紙サイズ以外のサイズを選択しても強制的に印刷するかどうかを設定することができます。強制印刷はせずに、警告メッセージだけを表示することも可能です。
[給紙部設定]	給紙カセットにセットした用紙サイズや用紙種類の登録などを行うことができます。 表面の粗い厚紙を使用した場合に、十分にトナーが転写されずに、印刷がかすれてしまうときは、[ラフ紙を使用する]にチェックマークを付けると、問題が改善することがあります。
[手差し設定]	プリンタドライバの[給紙]パネルにある[給紙部]を[自動]に設定した場合(自動給紙選択時)に、手差しトレイからの給紙を優先するかどうかを設定することができます。
[印字位置調整]	印字位置がずれているときに調整を行うことができます。
[ジョブキャンセルキー設定]	プリンタのジョブキャンセルキーの使用を許可するかどうかを設定することができます。
[Wi-Fi キーの無効化設定]	プリンタの Wi-Fi キーを無効化するかどうかを設定することができます。
[スリープ設定]	スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定することができます。
[オートシャットダウン設定]	オートシャットダウン機能を使用するかどうかや、オートシャットダウンするまでの時間を設定することができます。
[画質調整設定]	指定した時刻やプリンタの電源を入れた直後に、画質調整を行うかどうかを設定することができます。
[警告表示設定]	[カートリッジの交換予告を表示する]: 消耗品の交換時期が近づいたことを知らせるメッセージを、表示するかどうかを設定することができます。

	[トナーカートリッジの交換予告を表示する]： 消耗品の交換時期が近づいたことを知らせるメッセージを、表示するかどうかを設定することができます。 [トナーカートリッジの寿命を警告する]： 消耗品の寿命などで印刷品質を保証できなくなったときに、警告メッセージを表示するかどうかを設定することができます。
[警告表示詳細設定]	消耗品の交換予告を表示するタイミングを設定することができます。
[用紙サイズ置換設定]	指定したサイズの用紙がプリンタにセットされていないときに、用紙サイズを置き換えて印刷するかどうかを設定することができます。
[印刷補助設定]	印刷結果の問題を改善するための設定を行うことができます。
[出力用紙のカールを補正する]	60～74g/m^2 の用紙を印刷した場合、使用環境（特に高湿度環境）によっては、次の問題が発生することがあります。 ● 印刷しない部分に残像が現れる ● 排紙された用紙にしわがよる ● 排紙された用紙が次のどちらかのようにカールする 側面図　　正面図  そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。 吸湿した用紙を印刷した場合、排紙された用紙がカールする（印刷した面が反る）ことがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[長時間休止後の印字不良を抑制する]	プリンタが長時間休止したあとや用紙の種類によっては、中間調部分や白紙部分に細い横すじ（横線）が入ることがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[封筒印刷時の張り付きを回避する]	封筒を印刷した場合、封筒の種類や使用環境（特に高湿度環境）によっては、封筒のふたが貼り付いてしまうことがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[封筒印刷時のシワを低減する]	封筒を印刷した場合、封筒の種類や使用環境（特に高湿度環境）によっては、封筒にしわがよることがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[静音モードで印刷する]	静音モードで印刷を行うかどうかを設定します。 本項目にチェックマークを付けると、チェックマークを付けないときに比べて、印刷時の稼働音を抑えることができます。

[文字周りなどへのトナーの飛び散りを抑制する]	用紙の種類（特に厚紙）や使用環境（特に低湿度環境）によっては、文字やパターンの周囲にトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[細線にじみ改善]	印刷した線や輪郭がにじむような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。
[過剰転写低減モード]	印刷した用紙が全体的に黒ずむような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。モードはお使いの用紙に応じて設定します。
[普通紙 L 調整モード]	[普通紙 L] または [普通紙 L2] で片面印刷しているときに紙づまりが発生する場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。通常は [モード 1] で自動調整していますが、お使いの環境に応じて設定を変更してください。改善効果は [モード 2] が弱く、[モード 3] が強くなります。
[線幅選択]	印刷したバーコードが読み取れない場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード A]	印刷した用紙にすじ状の汚れが付着するような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。改善効果は [モード 1] が最も弱く、[モード 4] が最も強くなります。[モード 1] から順に試してください。
[普通紙 L 両面調整モードを使用する]	[普通紙 L] または [普通紙 L2] で両面印刷しているときに紙づまりが発生する場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[転写調整モードを使用する]	帯状に薄く印刷されるような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[定着汚れを改善する]	印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[加圧ローラーをクリーニングする]	プリンタ内部のローラーを常にクリーニングするかどうかを選択します。 印刷終了後の動作音が気になる場合は本項目のチェックマークを消してもお使いいただけますが、印刷した用紙に黒点状の汚れが付くことがあります。
[ドラムをクリーニングする]	中間調部分や白紙部分に細い横すじ（横線）が入るような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[高濃度モードを使用する]	トナーカートリッジの内部が劣化した場合、印刷結果が全体的に薄くなることがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[スタンバイ時に温度調節する]	しばらくの間データを受信していないと、プリンタの内部温度が低下して、次に印刷を開始するのに時間がかかる場合があります。 本項目にチェックマークを付けておくと、待機時も内部温度が保たれるので速やかに印刷できるようになります。
[用紙カール補正]	印刷した用紙がカールする場合、カールが発生した給紙部にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード V]	印刷した用紙がカールしたり、しわがよったりするような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。改善効果は [モード 1] が最も弱く、[モード 3] が最も強くなります。[モード 1] から順に試してください。
[特殊印字モード]	印刷した用紙にすじ状の汚れが付着するような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。改善効果は [モード 1] が最も弱く、[モード 4] が最も強くなります。[モード 1] から順に試してください。

[特殊印字モード B]	トナーカートリッジを交換したときや、長期間印刷を行わなかった場合に、印刷した用紙にすじ状の汚れが付着することがあります。そのような場合、本項目の設定を変更すると、問題を改善できることがあります。改善効果は［モード 1］が最も弱く、［モード 3］が最も強くなります。［モード 1］から順に試してください。
[特殊印字モード D を使用する]	印刷した用紙にすじ状の汚れが付着するような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード U を使用する]	用紙の種類（特に厚紙）や使用環境（特に低湿度環境）によっては、文字やパターンの周囲にトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード I を使用する]	用紙の種類（特に薄い用紙やカールしている用紙）によっては、両面印刷時に紙づまりが頻繁に起こることがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード J を使用する]	細線や薄い画像を印刷すると、ムラが出ることがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード K を使用する]	使用環境（特に低温度環境）によっては、十分にトナーが定着されずに、印刷がかすれてしまうことがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード G を使用する]	紙粉の多い用紙を印刷した場合、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード Q を使用する]	用紙の種類（表面が粗い用紙）によっては、印刷したときに、画像が薄くなることがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード T を使用する]	使用環境（特に湿度が高い環境）によっては、印字ムラが出る場合があります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[特殊印字モード L を使用する]	ほこりやゴミなどが付着した用紙を印刷した場合、印刷結果に汚れがつくことがあります。そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。
[モバイルプリント設定]	Mopria®などでモバイル機器から印刷するときの画像処理方法を設定することができます。写真やイラストなどは［階調］、文字主体の文書は［誤差拡散］を選択すると、より美しく印刷できます。
[ユーザーデータリストの言語選択]	ユーザーデータリストの表示に使用する言語を選択することができます。

[リモート UI]

リモート UI を起動します。
リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使用してプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。
リモート UI の詳細については、本体に付属のマニュアルを参照してください。

メモ

プリンタを Bonjour 接続で登録した場合は、［オプション］メニューからリモート UI を起動することが出来ません。
以下のいずれかの方法でリモート UI を起動してください。

- Web ブラウザを起動して、アドレス入力欄にプリンタの IP アドレスを入力する
- ［プリンタとスキャナ］ダイアログでお使いのプリンタを選択し、［オプションとサプライ］をクリックして、［一般］タブにある［プリンタの Web ページを表示］をクリックする

プリンタのメンテナンス

ここではプリンタのメンテナンスについて説明しています。

定着ローラのクリーニング(P. 73)
転写ベルトのクリーニング(P. 74)
プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う(P. 75)

定着ローラのクリーニング

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラをクリーニングします。

1 プリンタに A4 サイズの用紙をセットします。

2 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

3 ステータスモニタの［オプション］メニューの［ユーティリティ］→［クリーニング］または［クリーニング 1］を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

用紙が給紙されて、定着ローラのクリーニングが開始されます。

> **メモ**
>
> 定着ローラのクリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。
> (用紙が完全に排出されたら完了です。)

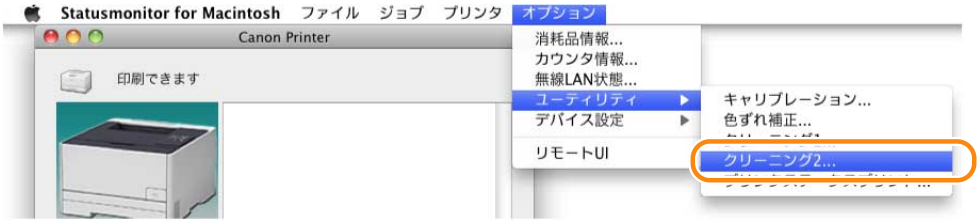
転写ベルトのクリーニング

転写ベルトに触れたり、汚れが付着すると、印刷品質が低下する場合があります。そのような場合は、次の手順で転写ベルトをクリーニングします。

1 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング 2］を選択します。



3 ［OK］をクリックします。

「クリーニング中です」のメッセージが表示されて、クリーニングがはじまります。メッセージが消えれば終了です。

> **メモ**
>
> 転写ベルトのクリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う

色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときや色ずれが発生するときなどに、キャリブレーションや色ずれ補正を行います。

重要

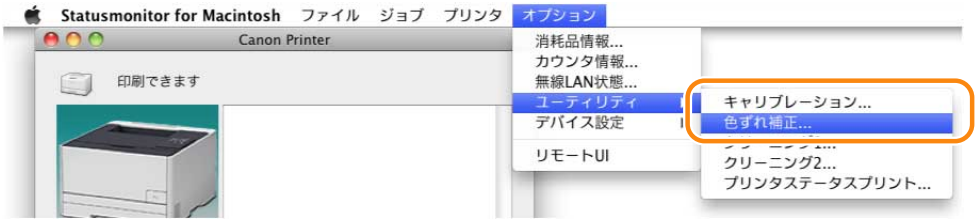
頻繁にキャリブレーションや色ずれ補正を行うと、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。

1 ステータスモニタを起動します。

メモ

ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［キャリブレーション］または［色ずれ補正］を選択します。



3 ［OK］をクリックします。

キャリブレーションがはじまります。

プリンタステータスプリント/ユーザーデータリストを印刷する

プリンタステータスプリントやユーザーデータリストには、プリンタ本体の設定など、現在のプリンタの情報が印刷されます。

> **メモ**
>
> プリンタステータスプリント/ユーザーデータリストは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をご用意ください。

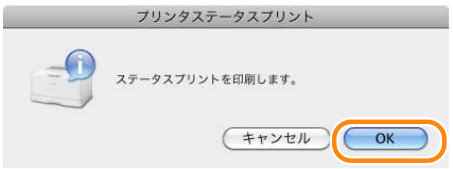
1 **プリンタに A4 サイズの用紙をセットします。**

2 **ステータスモニタを起動します。**

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

3 **ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］または［ユーザーデータリスト］を選択します。**

4 **［OK］をクリックすると、プリンタステータスプリントまたはユーザーデータリストが印刷されます。**



PCL フォントリストを印刷する

PCL フォントリストには PCL のフォントタイプのサンプルが印刷されます。

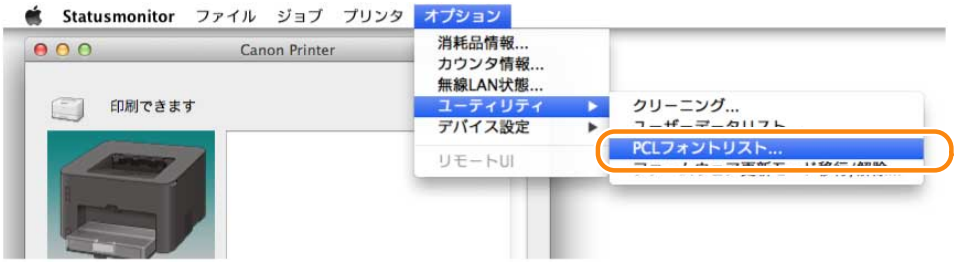
> **メモ**
>
> PCL フォントリストは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をご用意ください。

1 プリンタに A4 サイズの用紙をセットします。

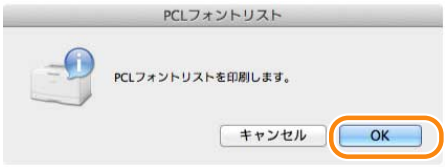
2 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

3 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［PCL フォントリスト］を選択します。



4 ［OK］をクリックすると、PCL フォントリストが印刷されます。



用紙サイズの登録

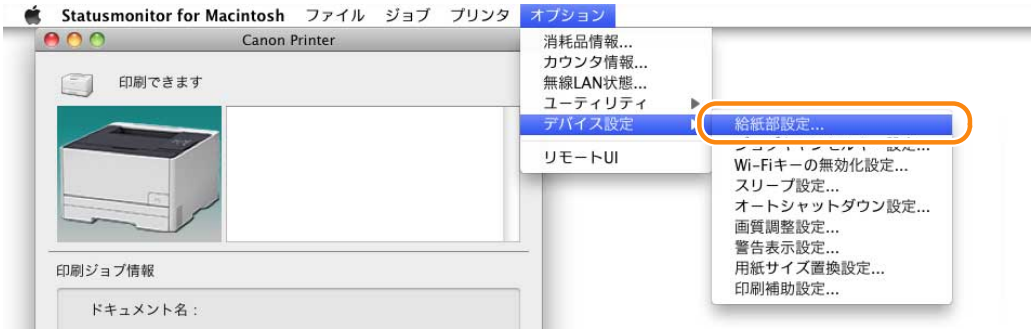
一部の機種の給紙カセットは、自動的に用紙サイズと用紙種類の検知ができないため、セットした用紙のサイズと種類を登録する必要があります。
次の手順で用紙サイズと用紙種類の登録を行ってください。

> **メモ**
>
> 印刷中は用紙サイズの登録はできませんので、印刷していないことを確認して登録してください。ただし、以下のメッセージが表示されている場合は、用紙サイズの登録はできます。
>
> - 用紙が指定と異なります
> - 用紙がありません

1 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 [オプション] メニューから [デバイス設定] → [給紙部設定] を選択します。



[給紙部設定] ダイアログが表示されます。

3 リストから給紙カセットにセットした用紙を選択し、[OK] をクリックします。

消耗品情報の表示

消耗品の寿命を確認することができます。

1 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［消耗品情報］を選択します。

［消耗品情報］ダイアログが表示されます。

［カートリッジ残量］

消耗品の残量を表示します。消耗品がなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

> **メモ**
>
> - ［警告表示設定］でチェックマークを消した消耗品は、交換時期が近づいていることを示すアイコンやメッセージは表示されません。
> - 表示される消耗品の残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

［純正品情報］

本プリンタの消耗品の型番を表示します。

カウンタ情報の表示

印刷ページ数を確認することができます。

1 ステータスモニタを起動します。

> **メモ**
>
> ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 [オプション] メニューから [カウンタ情報] を選択します。

[カウンタ情報] ダイアログが表示されます。

消耗品購入

消耗品に関するキヤノンのホームページを表示することができます。

1 ステータスモニタを起動します。

メモ

ステータスモニタの起動方法については、「**ステータスモニタを起動する(P. 62)**」を参照してください。

2 [販売サイトへ]をクリックします。

[国/地域の選択]ダイアログが表示されます。

3 国/地域を選択し、[OK]をクリックすると、消耗品に関するキヤノンのホームページが表示されます。

メモ

プリンタをお使いの地域によって、選択できる国/地域は異なります。

付録

付録 83
困ったときは 84
Canon MF/LBP Network Setup Tool について 85
IP アドレスの確認方法 88

付録

本プリンタドライバについての参考情報について説明しています。

困ったときは(P. 84)
Canon MF/LBP Network Setup Tool について(P. 85)
IP アドレスの確認方法(P. 88)

困ったときは

プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処法について説明します。

印刷できない

原因 1	プリンタとコンピュータが正しく接続されていない。
処　置	プリンタとコンピュータが正しく接続されているかを確認してください。
原因 2	プリンタの電源がオンになっていない。
処　置	プリンタの電源をオンにしてください。

［プリンタとスキャナ］にプリンタ名が表示されない

原因 1	プリンタとコンピュータが正しく接続されていない。
処　置	プリンタとコンピュータが正しく接続されているかを確認してください。
原因 2	プリンタの電源がオンになっていない。
処　置	プリンタの電源をオンにしてください。
原因 3	プリンタドライバが正しくインストールされていない。
処　置	プリンタドライバを再度インストールしてください。（→ **プリンタドライバをインストールする(P. 15)** ）

いつまでたっても出力されない

原　因	カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、印刷に時間がかかっている。
処　置	印刷可ランプがついているときは、しばらくお待ちください。

印刷結果の端が欠けてしまう

原因 1	アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと、プリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。
処　置	［ページ設定］ダイアログの［拡大縮小］で、縮小方向に倍率を設定してください。
原因 2	アプリケーションソフトウェアの余白の設定が本プリンタの有効印字領域外に設定されているデータをプリントした。
処　置	プリンタの有効印字領域は用紙周囲から上下左右 5mm（封筒は 10mm）を除いた領域です。データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってください。

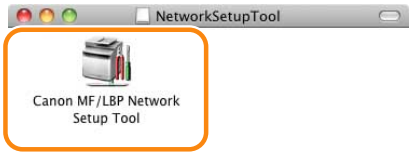
Canon MF/LBP Network Setup Tool について

「Canon MF/LBP Network Setup Tool」を使って、ネットワーク接続の初期設定を行うことができます。

「Canon MF/LBP Network Setup Tool」を起動する

1 付属の CD-ROM 内の［Network_Setup_Tool］フォルダに収められている［NetworkSetupTool.dmg］をダブルクリックします。

2 「Canon MF/LBP Network Setup Tool」を起動します。



直接起動する場合

表示されたウィンドウ内にある［Canon MF/LBP Network Setup Tool］をダブルクリックします。

コンピュータから起動する場合

（1）表示されたウィンドウ内にある［Canon MF/LBP Network Setup Tool］をお使いのハードディスクにコピー（インストール）します。

（2）［Canon MF/LBP Network Setup Tool］をダブルクリックします。

メモ

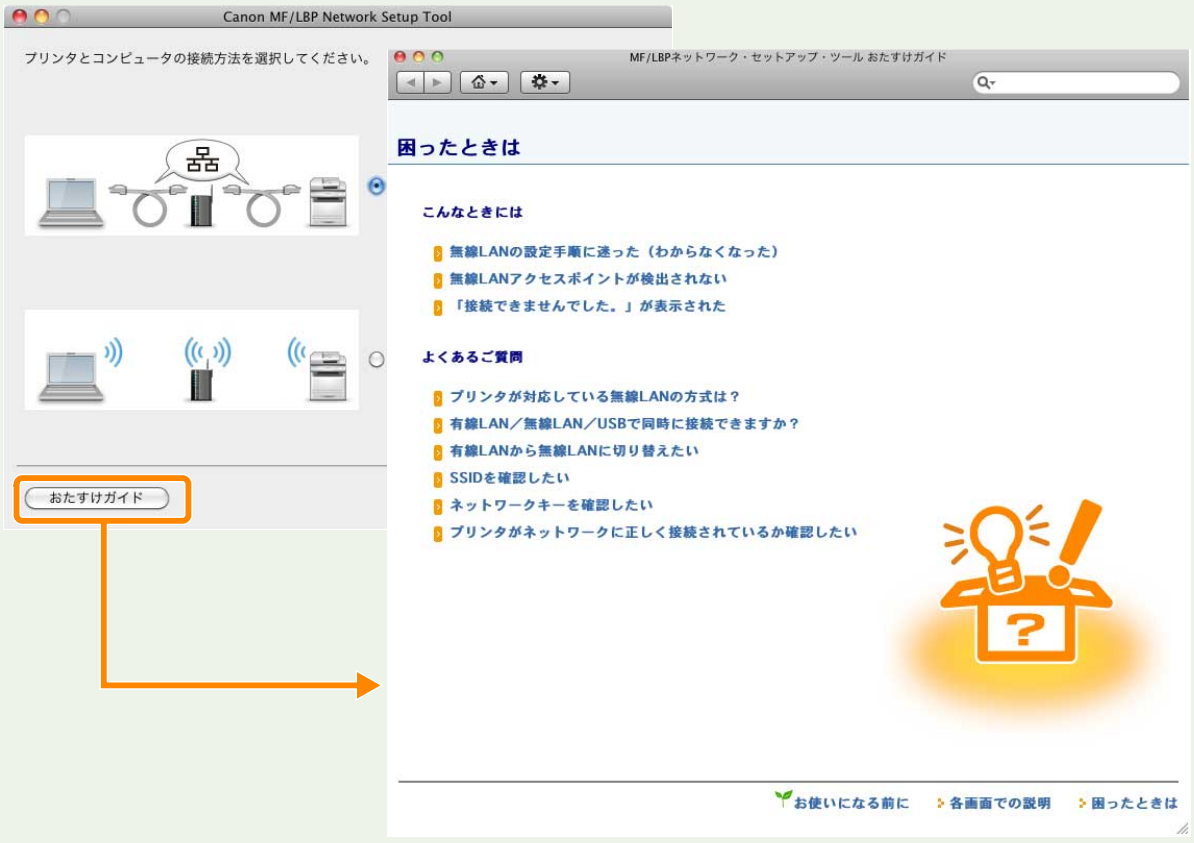
Canon MF/LBP Network Setup Tool をアンインストールするとき
コピー（インストール）したアイコンを削除してください。

「Canon MF/LBP Network Setup Tool」で接続設定を行う

設定手順は、お使いの環境によって異なります。画面の指示にしたがって設定を行ってください。

設定の途中でわからないことがあるとき

画面左下の［おたすけガイド］をクリックして参照してください。



「Canon MF/LBP Network Setup Tool」に必要なシステム環境

OS ソフトウェア環境

macOS 10.13 以降

※ 最新の「Canon MF/LBP Network Setup Tool」に関する情報は、キヤノンホームページ（https://canon.jp/）でご確認ください。

コンピュータ

上記 OS が動作するコンピュータ

インターフェイス環境

USB ケーブル接続時

Hi-Speed USB/USB

有線 LAN 接続時

コネクタ： 10BASE-T/100BASE-TX

プロトコル： TCP/IP

無線 LAN 接続時

規格： IEEE 802.11b/g/n

プロトコル： TCP/IP

IP アドレスの確認方法

次の操作を行って、IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

1 ターミナルを表示します。

お使いのハードディスク→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［ターミナル］アイコンをダブルクリックします。

2 「ping -c 4 ＜プリンタの IP アドレス＞」を入力して、キーボードの［Return］キーを押します。

- **入力例：** ping -c 4 192.168.0.215

3 IP アドレスが正しく設定されているときは、次の結果が表示されます（信号を 4 回送り、4 回正常に通信できたことを表しています）。

- 4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss

4 次の結果が表示されたときは、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

- 4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss

5 「exit」を入力して、キーボードの［Return］キーを押します。

6 ［ターミナル］メニューから［ターミナルを終了］を選択します。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: http://scripts.sil.org/OFL

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.